

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 3年 6月25日	作成者名	佐藤 尚子	評価者名	山上 睦只
-----	-------------	------	-------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	01 子どもの成長と生涯にわたる学びのまち	中心となる課	教育委員会事務局・教育政策室
分野	03 学校教育	関係課	教育委員会事務局・教育政策室
施策	07 確かな学力の育成		
施策の目的	一人ひとりに応じたきめ細やかな指導により、市内小・中学校の児童生徒が、確かな学力を身につけるようにしていきます。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	学校教育指導事業
取り組み②	中学校教育振興費
取り組み③	15年教育事業
取り組み④	就学・教育相談事業
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
授業がわかる調査 (小学生)	4年以上全児童の授業への意識調査 (わかる+概ねわかる児童/全児童数)	%	90	88	89	89	87	86	85
授業がわかる調査 (中学生)	全生徒による授業への意識調査 (わかる+概ねわかる生徒/全生徒数)	%	80	76	77	77	76	77	77
授業に対して取り組む姿勢 に係る調査(小学生)	4年以上全児童の授業への意識調査 (積極的+概ね積極的な児童/全児童数)	%	90	87	89	89	88	89	85
授業に対して取り組む姿勢 に係る調査(中学生)	全生徒による授業への意識調査 (積極的+概ね積極的な生徒/全生徒数)	%	80	79	82	87	87	84	83
その他施策の取組事項に 係る成果	国や県の学力調査において県内トップレベルを維持している。								

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	昨年度は、新型コロナウイルスによる臨時休業の結果、年間の総授業時数が減少した。このため、学校再開後、全ての履修範囲をカバーするため、授業の進度を速めたり、家庭学習を課したりしてきた。児童生徒にとっては、わからないまま授業が進んでしまっていることなどが懸念されたが、大きな数値の変化は見られなかった。	対応策	1) 引き続き、学校訪問や校内研修への指導主事の派遣及び教職員の研修会等の充実による教員の資質向上。その他、アクティブ・ラーニング・ルーブリックを核とする授業改善に向けた多様な取組の継続。 2) データの活用等を核とするEBPMを取り入れ、効果的な取組が市内全校に広がっていくように取り組む。 3) PBLの充実により、児童生徒がそれぞれの興味関心に応じ、主体的に取り組んでいける授業改善に取り組む。 4) 1人1台環境を生かし、家庭への持ち帰りも推進することで、学校と家庭をシームレスにつないでいく学びに取り組む。
----	---	-----	---

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	臨時休業や行事の縮減等が行われ、通常と異なる1年となった令和2年度の影響が今後生じる可能性もあり、児童生徒の変化を注視するとともに、個別最適な学びの実現に向けて、取り組んでいく。
B		
今後の方向性(人員/予算) (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	教師の働き方改革や授業改善、特別支援や不登校等多様なニーズへの対応のため、人的体制の充実や産官学との連携、データ活用に向けた環境整備が引き続き必要である。
↑		

(評価者コメント)

本施策は教育政策室が単独で平成16年度から取り組んでいるものであるが、その当時と比べても順調に推移してきている。今後も各種指標の達成に向け、一つ一つの事業内容の質的向上を目指し推進していくとともに、PBLの充実や端末の持ち帰りによる学校と家庭のシームレスな学び、データ活用に向けた環境整備等、時代を先取りした施策も展開していきたい。
--

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 3年 6月25日	作成者名	佐藤 尚子	評価者名	山上 睦只
-----	-------------	------	-------	------	-------

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性			R 4 予 算 額	事業費 うち 一般財源		
		事業コード	事業内容	事業区分 R 4 計 画 額	R2決算額		評価結果						事業の方向性	実施計画候補			施策内優先度	コメント
					R3予算額	事業費	事業の方向性	実施計画候補	施策への貢献度	経費水準	事業手法	受益・負担の公平性						
03 研究・研修事業 (教育政策室)																		
	01	研究・研修事業		任意	3,374											個別最適な学びの実現等、求められる教育の在り方が変化する中、必要な研修会数を希望する。	0	
	01	10	01		05	03	01	4,475	1	A	B	A	A	1	B		0	
		今日の課題研修会や指導法に関する研修会、教育相談研修			4,543													
					6,924													
04 A L T 事業 (教育政策室)																		
	01	A L T 事業		任意	64,790										次年度も外国語の教育課程特例校としての実践を続けていくため、現状維持を希望する。	0		
	01	10	01		05	04	01	71,820	1	A	B	A	B	1		B	0	
		英語指導のスキルをもつA L Tを小・中学校に配置し、A			69,445													
		Tを小・中学校に配置し、A			69,385													
				2,077														
04 小学校教育振興費 (教育政策室)																		
	01	小学校教育振興費		任意	72,945										各学校の自走を支援し、子供の状況に応じた個別最適な学びを実現するため、現状維持を希望する。	0		
	01	10	02		01	04	01	23,748	1	A	B	A	A	1		B	0	
		各小学校における学習環境の整備及び学習指導体制の充実			22,518													
					22,518													
				20,772														
04 中学校教育振興費 (教育政策室)																		
	01	中学校教育振興費		任意	20,095										各学校の自走を支援し、子供の状況に応じた個別最適な学びを実現するため、現状維持を希望する。	0		
	01	10	03		01	04	01	83,439	1	A	B	A	B	1		B	0	
		各中学校における学習環境の整備及び学習指導体制の充実			59,115													
					59,115													
				20,772														
計 (千円)					事業費	403,405										0		
					うち一般財源	403,405										0		

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
 7 令和4年度で終了 8 令和3年度で終了 9 令和2年度で終了